

幸

ベルグマン

光文社古典新訳文庫

機械的)

内面化

耀傑

案の  
原因

p.32  
 石は人工的の意図がある  
 機械作の発露の聖機  
 内面に

機械性の欠如の憂

p. 77  
~ p. 86

→ 精神 → 性格  
原因

集和九子例  
急修工部  
→ (自然)

p.130  
いかに  
生の様式  
を保持して置くか

p. 8a

笑: 倒 --- 笑也: 倒  
 ↑ 無腦氣, 集團

機械的 2 ある

- ・ 硬直にふる - 物質的 (生と心の緊密な関係がある)
- ・ 繰り返してもふる - 模倣でもふる
- ・ 自動作用 (習慣的)

- ・ 繰り返しても - 模倣でも

- 自動作用 (習慣的)

生 である

衣服，儀式性，右側向

緊張がある

・弾力性がある

(.の枠組みに)

$\phi.63 \sim 76$

p. 89  
~ p. 95

内面化によつて 強制的なものか

想像力

三三三 ~ もの に | 被せる水? ~ ( = 変装 )

柳屋敷押しにふれたい

3 角 主 1 0 1 272,2

第一回 生まれ ( ? )

① 両者の結合から異化される多量の  
自明の事実が得られる

三. 的 には乃く手段に 潤有るに p. 73

5.50 おかしく目的の不明

手段として、2つの2次元自然

方向性1.

被せられている  $\rightarrow$  硬直的 人生のイキ-ジ

11X-2  
倍差され2in3.

(154)

生 = 心 + 生

自然

機械

人工物

社会

規則, 慣習

402

86. d  $\Rightarrow \infty$

(新) =  
96 ~ 100

[illegible]

(例) 反復法, 擬物表現

生きているうちに  
事物に  
12 同一視  
11 同化して見  
る

方向性 ③「機械的でない」は「事物一般」に拡張した  
 p.89 ~ p.95

p.80 非劇 212 肉體欲求... 登場人物を求むるが...

生主2~27の	精神	内容
機械的の27の	肉体	形式

方向性②  
 身体 = 生主2~3才の毛除細に見る毛種が...生主2~3才の  
 内体が...機械と対比  
 生主2~3才の毛...重要と対比場面  
 機械的の対毛の注意... (7) ~ (7) (7)  
 出来事 12才才の... 50 p. 178

22

17

2章

対象 <sup>行動, 態度, 形</sup> そのもののほかには  
 状況に <sup>機械的のものや</sup> <sup>生きといるものが</sup> <sup>見出される</sup>

つまり状況も含めてお分けへ

自動作用

出来事, コンテキスト

① p.105  
 何れも 抑圧  
 緩むとする 圧縮された感情  
 (機械的)  
 ばね  
 解り返される  
 問ひかけ

圧縮はうとする感情  
 抑さえている手  
 話を続けたい

の対峙  
 する状況

p.108 人間嫌いの感情

紳士的である  
 とする態度

p.124 笑い  
 累

② 糸で縛られいる状況 p.111

自由に話していると思, しているが  
 生 実はもてあそばさる他人の手の中にある状況  
 機械

p.124  
 (Q.)

③ 雪崩の形式 p.114

・機械的な連鎖反応と増幅の形式

p.119 原因が結果に戻る、という図環が交差しておぼろげに

・一堂々巡り

・出発点に戻る、という (= 水辺を渡す)

(A)

✓ p.

見ても  
よく  
わかる

おかしな  
こと

出来事。配置に機械的の107-2  
を感じておもしろい感じ

① 生の緊張を緩めてくれる

p.124 生の緊張が緩んでいくから  
機械的の107-2に沿って出来事か  
状況が起る

p.124 笑うとは、人間が出来事にうしろを特殊な  
緊張の緩みと際立って、抑制するもの

② p.124 生と機械の差をうしろのうしろに見せる  
性格  
それは何故？  
(逆) 生と機械のうしろに見せる手法が... 喜劇・大団円  
で表す

③ 時間の12は、連続的の107-2不可逆に変化する性格  
空間的の12は、閉鎖的の107-7 2要素  
系内部で相互依存する  
p.131 本自然に見せる手段の12  
交換可能な機械の部品 p.142

大団円

状況

1. 繰り返す

現象の不可逆性をくつ返す.

・ 場面をくり返す

物語

文脈を分けて  
くり返す

セリフ  
場面を

2. い, くり返す

系の相互関係をくつ返す

・ 役割が入れ替わる

p.167 莊嚴のシーンと  
平俗のシーンとをくり返す

3. 系列間の相互交渉

系列をある個人の出来事の連鎖  
と個人

相互交渉  
取り違へ

本来  
無関係は

今ある 者の	出来事の連鎖
-----------	--------

- 致

p.140 集団が別のイベントに

参

刃巻も込められ

連鎖ゲーム

p.144

言

=

/

①

②

p.160

③

$\{ \neq \frac{1}{2} \text{ 葉を發した人に対する } \frac{1}{2} \text{ の } \frac{1}{2} \}$   
 $\neq \frac{1}{2} \text{ は } \frac{1}{2}, \frac{1}{2} \text{ 表現を } \frac{1}{2} \text{ の } \frac{1}{2} \text{ である}$

文切聖<sup>レ</sup>乙

481 - d

系列問、相互交渉

ついでに

$\frac{7}{4} \times 4$ , 意図と真逆の解釈を付す

・移物図 p.168 ・因果の反駁 ・T2joka

↑ 送く

低劣紙 (本来高品位のものに下位のものでも鑑別できず) のハコに  
 張紙 (品位: 高品位)

- 二六八 -

p. 172

現実 (あるがままのもの) <sup>も</sup> 理想 (あるべきもの) として  
⇒ 2-モ了 見方を変えることで良いところがある(?)

理想も現実のものとして扱う ⇒ アイワニー

「あつかり 年がきれいでいうやましいわあ」  
理想 本当にそう思っている素振り

p. 174 専門用語を 日常会話 でも使う、

単なる その人の 習慣 などの より 性格 に起因  
する行動 と 分かって 面 向 する

3章 ここまでの議論は ねトッ? ダウニ、

p. 179

ねトッ?

原理

よかしは  
人間の社会に対する  
硬直性を表す

3章はここ

創造力 に対し  
理想  
性格以外のもの <sup>より</sup>  
笑うことが出来る

ダウニ

・ 動機  
・ 出来事  
・ 了解 etc...

p. 182 よかし の 両義性

純粋な 快楽 が 与えられる 逸脱 を (修正) しようとする意図  
も 終 ん び る

180  
p. 181

p. 184

硬直性  
自然作用

p. 185

p. 186 Q.

A.

p. 187

188

Q

A

おかしな、その大部分が、孤立している

p.185

笑いの対象となる人物の性格

p.181

「おかしな、他人と接触することを心がない」

自分の道は自動的に決まるといふ人物に与えられる

「自己に対する不注意」 p.196

笑いの機能 = 下向の性格を修正する力

笑いは51% = 1% 屈辱的な

2% 笑う

p.184 笑いの対象となるのは、

「軽微な欠点 (自分の同類のもの)」

無感動性 → 笑いの対象となる

「欠点」 (e.g. 謙遜)

→ 欠点ではあるが軽微

p.185 何もない → 習慣・観念 → 笑いは偏見に因るから

p.186 軽微な欠点 → 笑いは軽微と判断する

A. 共感 + 心配 → 笑いは引き起さず

p.187 笑いの対象となるのは、

188

A. 2% 笑う

①

②

(次へ)

274322

184

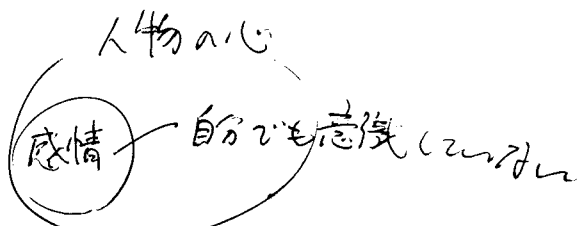


p.187,8 Q. 共感を引き起こさせる技術とは？

p.199

A. 2つあるが独立している

① 感情に飲み込まれている  
(笑いの対象とする人物が)



・ 人物固有の性格ではない？  
部分的 - 時局的なもの？

② 行為 (= 意志と目的を伴った行動) ではなく  
身振り (= 無意識の動作) に注目させる  
= 態度、体の動き、セリフ

Q. (

A.

p.201 実

p.194 ② 自動作用  $\begin{cases} ① \text{ 無感動} \\ ② \text{ 非社会性・硬直性} \end{cases}$

(解

p.197 お互いの性格とは  
性格ある類型(枠)に分類する  
| 分類する |  
| 当てはめと見る |  
| このときの性格 |

p.203 自分  
感情



(言

・ 枠を通して自分をくり返している

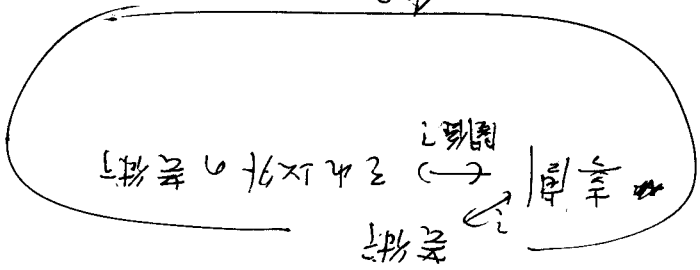
p.207 表

・ 他者が枠を通して自分をくり返すところまで  
p.253

枠にあてはまる事物  
を想像する(シミュレーション)

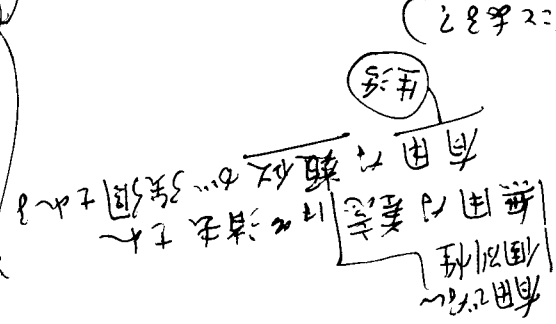
p.208 観

p.199 幸劇の目的とは、より一般的な性格・類型を描写すること



Q.

生活



(現代文で読んだら?)

自然

自分の感情

感情である、それを一般化する

(個々人への押し付け)

(言語化の感情を味からためになるか、沈黙の身をおかせる)

生活・芸術の目的 = 有用な象徴や

習慣や社会によって受け入れられている一般性を取り払い、私生活に直面的に

知識の純粋性

p.208 観念論と実在論

p.213 芸術は常に 個別的なものをめざす  
・一時的 & 個人的 or 局所的

p.213 表

(芸術の) or 作品 *zeta*  
p.213 対象物は個別的だが、わたしたちが対象物について下す判断  
215 p.9 は ~~普遍的~~ 普遍的である。

⇕ 喜劇は喜劇以外の芸術と対立する

喜劇は作品が一般的の類型を描くことを  
*zeta*  
目的としている (承前 p.199)

内

p.226

p.216 喜劇は主人公と周囲の人物が 同じ性質を  
共有していることが多い (⇒ 個性を意図的に)  
結果 失わせる  
& 類型を強調する



p.220 悲劇: 作者が 内省を深めて、ありえたかもしれない自己  
の 可能性 ("複数化") をもとに主人公をつくる  
選択

p.228

p.223 喜劇: 人間観察 (≠ 自分自身の笑いをもちやす ~~ため~~ 人々は  
意識できるものではない by def. ため)

p.232

表面のみの 個別的  
表面のみの観察 (個人の 原因 / 共通している  
行動のみ評価)  
することによって 一般化 結果、かきまわす  
類型化

p.23

b.23

127  
127  
C 27  
127

3월 ~ 4월



1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.

3월 ~ 4월

2.5

2.5



2.5

(ベルグソンの笑へ 続き)

p.238 (他の説) 不条理 <sup>夢の不条理</sup> が笑いを産み出す

↓ ベルグソンは反論 全不条理が笑いを産み出すわけではない

p.239 不条理は (笑いの) 原因ではなく結果である

・ 硬直した認識 (推論) みに合わせて

事物を成型しようとする (風車を巨人で思う)  
<sub>錯覚</sub>

↓ 対立

良識 := 対象が変わると観念を変えること  
絶えず適用し続ける

硬直した認識の例  
種類

狂妄

← 病気で笑っている

固定観念

← 他人の情を  
引く

⑦

↑ 笑いの条件を満たす

笑いは社会から与えられた類型(-)に修正を要求する  
 反省

応酬

笑いは交流(-)のため

★笑いを促す人物が、自身のたがいに笑い、  
 滑稽な相手と相手を面白くするに促す。  
 相手は(一時的でよい)動する人物の  
 身振り、笑ひ、行為を採り入れる

0-254 良識(p.239)を維持する苦難を了解放(204)

知的緊張

p.291, 303

共通(234)

→ 笑ひの共通 → 笑ひの共通 → 相手が  
 修正 笑ひ

弛緩の伝播

0.262

批評の伝播は笑ひの伝播は、  
 必要條件の伝播は条件の伝播

笑ひの伝播

笑ひ

笑ひの伝播は笑ひの伝播

p.293 自嘲 - ペシミズム

p.303 共感には笑を付し、しかし笑うとき一瞬共感する

